

3



2



1



広がる輪、そして、 それぞれの成長―

昨年4月4日、好藤保育所内にオープンした鬼北町子育て支援センター「ゆめぼっけ」がまもなく1周年を迎えます。

保育所に入所していない子どもや保護者を対象にしたこのセンターには、今までのべ1,000組近い親子が訪れました。

これまで家で過ごしていた子どもたちが、社会への第一歩を踏み出す場所「ゆめぼっけ」。最初は初めての場所に戸惑い、保護者に抱っこされて見ているだけの子どもも、時間とともに保護者の膝から離れて遊具を使っ

4



そして徐々に子ども同士の関わりへと自身の世界を広げていきます。室内から園庭へ、更には園の近くに散歩に出かけるなど、行動範囲もどんどん広がっていきます。

こうした遊びや関わりの中で、子どもたちはさまざまなことを学んでいくのです。そしてそれらが、その子にとっての「心と体の成長」へと繋がっていくことでしょう。

もちろん、子育ての情報交換をしたり、時には子育ての悩みを相談したり、そして、子どもの成長と一緒に喜び合ったり―子どもだけでなく、保護者同士の出合いの輪もどんどん広がっています。

オープンから1年。この「ゆめぼっけ」でさまざまな出会いがあり、さまざまなふれあいが生まれ、さまざまな親子の成長がそこにはありました。

子育てをもっと楽しんで ほしいから―

誰もが気楽に立ち寄れる、そんな場所が「ゆめぼっけ」です。

そこには、思いを共有で

きる仲間がいます。子育てを一緒に楽しんでくれる仲間がいます。

ぜひ気楽に遊びに来てください。ちょっと覗いてみてください。少し肩の力が抜ける、子育てが笑いで溢れるそんな空間がそこにはあるはずです。

お母さんはもちろん、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんも大歓迎です。みんなが子育てを楽しんでいきましょう。そのために「ゆめぼっけ」はあるのです。

※「予定表」や「ゆめぼっけだより」を各保育所、各公民館、中央公民館図書室や鬼北総合公園に掲示していますので、どうぞご覧ください。



5

1_自分の子どもも他の子どもも一緒になって遊ぶことで交流が生まれ、そこから子どもの「成長」が生まれる 2_保護者同士の交流も「ゆめぼっけ」の魅力の1つ。子育てに関するさまざまな情報交換が行われている 3_好藤保育所のお別れ遠足にも参加。園児らと一緒に楽しんだ 4_保護者も子どももそれぞれが思い思いの時間を過ごすこの空間には、ゆったりとした時間が流れていく 5_どんどん広がっていく「ゆめぼっけの輪」。たくさんの笑顔が「ゆめぼっけ」を魅力溢れる場所へと成長させてきた